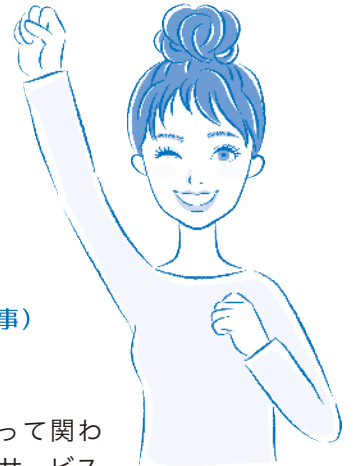


ミッション達成のための YWCA 運動のユニークさ

委員会制度・活動のプロセスでの成長



山本知恵 (京都 YWCA 総幹事)

3市 YWCA (神戸、大阪、京都) は以前から運営委員を中心に交流を続けてきましたが、昨年から日本 YWCA の「地域 YWCA を主体とした活動」プログラムの連携事業として、YWCA 運動推進のため、今ある問題点・課題について話し合い、組織や次世代継承の構築などを考えてきました。その中で「そもそも YWCA で活動するとは?」「YWCA 運動は他の運動体とどう違うの?」という疑問について話し合ったことを、京都 YWCA 総幹事の山本知恵さんにまとめていただきました。

「あなたが YWCA の会員になったきっかけはどんなことでしたか?」「それから〇〇年、今も YWCA の会員としてボランティアに活動に参加し続けているのはなぜですか?」

〇〇さんとの出会いがあったから、新しい人とのつながりができたから、社会とのつながりができたから、自分にとっての居場所になったから、そんな答えが去年の3市 Y の「合同合宿」で共有できました。

最近、他にも様々な社会の課題解決に取り組む NGO やボランティア活動がたくさんある今、YWCA で活動する意味は何でしょうか。

地域 YWCA は、それぞれの地域で多様性を尊重し共に生きる社会を具体的に創り出す = safe space を創る活動をしています。その活動・プログラム・事業は何であってもその運営に会員がボランティアとして関わり、担い手となっています。これこそが、社会課題に取り組むたくさんある NGO でのボランティア活動との違いではないでしょうか。YWCA の会員は、サービス提供ボランティアにとどまらず、主体的な運営の担い手として、社会変革・ミッション達成のために働いています。

一人ひとりが参加している一つひとつの活動の現場は様々ですが、その運営の現場が委員会による民主的な話し合いと合議制による意思決定への参画によるものです。自分の意見を述べ、他者の意見を聴き、互いの違いを尊重しながら、一致に向けて、意思決定に関わる。

みんなで決めたことに責任持って関わる。委員会やそのプログラム / サービス提供の現場において、「役割分担と協働」がうまくいくためには、一人ひとりの責任ある参画が重要となります。

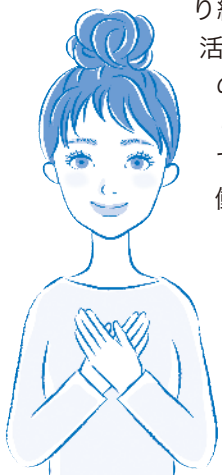
他にも YWCA での活動の特徴として、女性が主体であること、それまでの経験や立場、年齢を超えてフラットで対等な人とのやりとりの実践の場であることが共有されました。皆さんも YWCA の活動への参加を通して、それまで自分が所属していた家族・学校・職場という(自分の)「枠を超えて」新しい人との出会いとつながりを得る経験をしているのではないのでしょうか。

YWCA は目指す社会への変革のために、社会の構成員である自分が変わっていく学びと成長の経験の現場だということです。ただ余っているお金や時間を有効活用するのではなく、「社会の課題解決に取り組むこと」でもなく、ボランティアという主体的な会員活動を通して、様々な「違い」を超えた人と出会い、友人となるのが醍醐味ではないのでしょうか。

一方で、YWCA は会員の仲良しクラブではなく、信頼関係をベースにグループでミッション達成に向けて協働するための集団です。それは言い換えれば、私たちは常に、YWCA の基盤である聖書のみ言葉に立ち返り、自分たちの活動を振り返り、へりくだって改め、「共に生きる」人間関係を追求する、祈りの集団でもあるのだと思います。

これまでも続けて来た3市 Y の会員交流・ネットワークを今後も発展させながら、YWCA の会員活動が「平和を創る」活動として実りあるものとなるように、パワーアップ計画第2弾を進める予定です。YWCA の会員一人ひとりが、社会におけるピースメーカーとして働くために、学びの経験値を高めていきましょう。

(3市 YWCA 合同ミーティングより)



神戸YWCAの会員活動が動き出しました！

あなたも部のメンバーになって活動しませんか？

2018年度神戸YWCAビジョン「一人ひとりが大切にされる社会」のもと、各部・グループは今年度の活動目標を決め、活動をスタートしました。各部の活動について、また活動に対する熱い思いを紹介します。

運営委員会

これまで運営委員会では、神戸YWCAの活動、組織について考えてきましたが、今年度は、神戸YWCAの活動を担っている部やグループについて、今まで以上に関心を持ち、知っていこうと考えています。また、日本YWCA「地域YWCAを主体とした活動：Local Action」第1期の助成を受けた京都・大阪・神戸の3市YWCAは、9月に神戸で合宿を企画、YWCAの活動がさらに元気になるように「会員のリーダーシップ養成」について考えていきます。

運営委員5人と、今までにない少人数での出発になりましたが、力を合わせて、課題に向き合っていきたいと思っています。
(野村 春美)

機関紙編集部

機関紙は神戸YWCAの活動を内外ともに伝える重要な役割を担っています。今年度はそれぞれの活動をより知ってもらうために、各部コーナーを拡大することにしました。また、神戸YWCAは2020年に創立100周年を迎えるにあたり、事業・活動の新しい在り方を探る「プロジェクトY」を発足させました。総幹事のコラム「あの不思議な光景を見届けよう」で報告してもらい、会員をはじめ神戸YWCAに連なる方たちとともに考える紙面にしていきたいと考えています。

(野村 春美)

国際相互支援部

国際相互支援部では、国際理解を深め、難民などの国際的な社会課題について一緒に考えています。

また、YWCAのネットワークを通して海外災害支援協力も行っています。語学教師や料理研究家、国際機関職員など、異なったフィールドを持つメンバーの共通点は食いしん坊。毎年ある国のお話を伺いながらお料理をいただくTTW (Taste the world) というイベントを実施、時にはおいしい各国料理の店でランチミーティングもしています。ご一緒にいかがですか。
(掛橋 智佳子)

被災者支援プロジェクト

福島放射能被災下で生活する家族に一時滞在家屋を提供する「セカンドハウスプログラム」に取り組みます（日本YWCAとの協働プログラム）。福島の人たちの苦闘のほんの一部に関わっているに過ぎませんが、多くを学んでいます。今年は5家族をお迎えする予定です。
(西本 玲子)

平和活動部

平和活動部は、平和憲法を守る活動を継続するという活動方針のもと、憲法出前プログラムを実施しているが、現在プログラム内容のバージョンアップを検討中である。また、今年の平和集会は、一人ひとりが忙しい日常のなか立ち止まり、生き方や価値観をより明確にすることが、平和や憲法を考えるうえで大切だと考えた。若い人や関心のない人々にもアピールする内容で、生き方や価値観について改めて考える機会になれば、と計画した(p.4を参照)。さらに、誰でも参加できる勉強会を実施しており、非核、非暴力についても考えていきたい。
(東根 順子)

地域福祉部

「分室の地域交流スペースとしての活用」を考え始めて4年間の「振り返り」から、4月からは「木曜カフェ」を13～16時オープンとした。すると、13時台に立ち寄る人がちらほら。お話をしたい人、わいわいランチを利用しようと覗いてくださった人、活動後に立ち寄る人、いちじま丹波太郎さんの野菜を待つ人等々。1時間早く開けた効果大！待合スペースを使ってくださるグループや会員を大募集中！

第3木曜「くるくる」は、大きな実績を作っているが、未だにくるくるとは回っていない。提供者、利用者、関わるボランティアの輪を太く大きくしていきたい。
(井上 みち子)

キリスト教基盤部

YWCAはキリスト教の基盤に立って平和と正義の実現に寄与することを目的としています。キリスト教基盤に立つということは、どんな時も子ども、女性、弱くされている人々の側に立って、いつも寄り添い愛されたイエスキリストの生き方に倣って生きるということです。

今年の標語聖句は「平和を勧める人の心には喜びがある」です。私たちそれぞれが、「私も“平和を勧める”一人となっている！」「私たちの心は喜んで！」という気づきと実感をもって過ごし、またその活動がつながる人々に勇気と喜びを届けるものでありたいです。
(宮田 泰子)

2018 神戸YWCA キックオフ・ミーティング



神戸YWCAで活動する会員・ボランティアが集まり、ビジョンや目標を確認しあうオリエンテーションです。

今年は部・グループ紹介だけでなく、活動の発信に使える「よくわかるSNS活用講座」も企画しています。



日時：6月16日(土) 13:00～16:00

場所：神戸YWCA会館5階チャペル

*神戸YWCAの活動に参加している方すべてが対象です。各部・グループから必ず1人以上は出席ください。「今年の一歩」用紙もお忘れなく！

● マザーズカレッジ公開講座
「創造性と真実を持った本
—私の「石井桃子」論—

今年は石井桃子さんの没後10年。奇しくもその命日にあたる4月2日に、その仕事の軌跡をたどる機会を持つことができました。

石井さんと深い親交のある小寺啓章さん（元太子町立図書館長）から石井さんとやり取りなされた手紙、写真を見せていただきながら、お話を通して、石井さんの可愛らしい一面や人としての優しさあたたかさにあふれたお人柄を改めて感じることができた。子どもとお話の楽しみを分かち合うために何を大切にしたら良かったかをともに考え、それをしっかり受け止めることができました。

子どもの本とは何かという全体像を、生涯追い求めた石井桃子さんの大切になさってきたこともしっかり届けられるように、これからも創造性と真実をもった本を子どもたちと楽しみたいとの思いがますます深まった。（西野 京子）

● イースター早天礼拝

日時：2018年4月1日（日）
場所：神戸東遊園地



今年も神戸YWCAキリスト基盤部のメンバーで、伝統のイースターエッグを100人分作りました！

あの不思議な光景を見届けよう VOL.2

神戸YWCAの事業と財政の再評価のために「プロジェクトY」に取り組んでいる。「再評価にあたり、一番大切なのはあなたの団体の使命である」と書籍に書かれていたので、私も神戸YWCAの使命を確認してみた。「この法人は、キリスト教の基盤に立って、青少年及び女性の人格向上を図り、教養を深めると共に、人間の尊厳を守り、奉仕の精神を養うことにより、平和と正義の実現に寄与することを目的とする」。

全文そのままは固いので、私は勝手に「神戸YWCAに関わった人

が成長し、その人を通して平和と正義を実現する」と読み代えている。神戸YWCAはあくまで「人の成長」というプロセスに貢献する団体であって、平和、非核、多文化共生といったビジョンは、その結果として達成されるものなのだ。先輩方が「Yは人なり」と言い続けていたことの意味はこれだったんだなあと、今更ながら思う。

使命は、私たちの道しるべだ。皆さんなら、YWCAの使命をどう読み解きますか。（総幹事 西本 玲子）

Summer 7.3 Campaign

あなたの寄付で
子どもたちにチャンス！

「神戸YWCA夏季募金」で
外国にルーツを持つ子ども
たちのためのプログラムを
ご支援ください！

初期日本語学習

夏休み「勉強に役立つ日本語クラス」

居場所づくり

進学相談

教科学習

オリジナル教材作成



神戸YWCA学院日本語コースでは、
外国にルーツを持つ子どもたちが
基礎的な「日本語力」を身につける
ためのトータルサポートをします。

目標金額 **200万円**
募集締切 **2018年9月**

郵便振替口座 01100-0-10298 公益財団法人神戸YWCA

ご寄付は
こちらへ

*振替用紙の通信欄に「夏季募金」または「子ども日本語」とご明記ください。神戸YWCAへのご寄付は税額控除の対象になります。詳しくは事務局へお問い合わせください。



京都外国語大学3
回生の古田結菜です。
私は幼少期をグアム島で

過ごしたため、帰ってきてからも英語を続けたいと思い、神戸YWCAで開講されていた（公財）海外子女教育振興財団（JOES）英語保持教室に通い始めたのが神戸YWCAとの出会いです。小学校1年生から中学3年生までJOESに通った後、神戸YWCA学院の保持プログラム「オールトウギャザー」に一年間通いました。その後は会員としてボランティアでイベントに参加するようになりました。

参加するたびにいろんな方と出会い、人との関わり方を学びました。神戸YWCAのイベントには子どもから大人まで老若男女問わず集まります。そこで世代を超えた人々と接していくうちに、その良さを発見したり、接し方を身につけることができました。

8月からはオーストラリアのメルボルンに1年間留学します。神戸YWCAで培ったコミュニケーション力をもとにいろんな国のたくさんの人と親しくなりたいと考えています。そして、機会があればオーストラリアのYWCAも訪れてみたいと思います。私の中で神戸YWCAと出会えたことはすごく大きく、これからも関わっていかれたらなと思っています。

（古田 結菜）

神戸YWCAへのおさそい

神戸YWCA 本館：神戸市中央区二宮町 1-12-10 tel. 078-231-6201
 神戸YWCA 分室：神戸市中央区坂口通 5-2-16 tel. 078-221-5111

- わいわい科学クラブ (小学生対象)
 「すな時計風スライムオブジェをたのしもう」 分室
 6月16日(土) 13時～16時 *申込不要
- 「浮沈子(ふちんし)をつくろう」 分室
 7月21日(土) 13時～16時 *申込不要
 参加費 各回300円
- ちゃいやあらんど 分室
 ママと子どもたち(0歳～幼稚園前)のグループ
 第1・3水曜日 11時～15時
 参加費 100円(1回)
- 地域のお店くるくる 分室
 ちょっとステキなりサイクルファッションのお店
 6月21日(木)・7月19日(木) *第3木曜日
 13時～15時30分
- カフェもぐもぐ 分室
 若年性認知症の人と仲間たちのカフェ
 毎月第1土曜日 10時～15時
 参加費 700円

*昼食はカレーを作って食べます(要予約)。

- 声の奉仕 本館
 6月5、19日(火)・7月10、24日(火)
 13時30分～16時 *第2・4火曜日
 参加費 600円/月(別途年会費等あり)
- 讃美歌を歌おうかい 本館
 6月7日(木)・7月5日(木) *第1木曜日
 15時～16時
 参加費 500円(1回)
- 聖書を読む会 本館
 6月7日(木)・7月5日(木) *第1木曜日
 13時30分～15時
 参加費 500円(1回)
- 文学講座 本館
 『枕草子』を読む
 6月19日(火)・7月17日(火) *第3火曜日
 13時30分～15時30分
 参加費 500円(1回)

会費納入のご案内

2018年度(2018年4月～2019年3月)会費・会友費のお支払いをお願いいたします。
 2017年度の会費が未納の方は、併せてお納めください。

*特別な事情により会費の支払いが困難な場合は、「会費減額制度」がありますので、事務局にご相談ください。

YWCA オリジナル ドリップコーヒー

1袋 200円(寄付を含む)
 本館・分室でお求めください。

丸山 春子 三浦 哲朗
 水野 雄二 宮田 茂雄
 山崎 道子 (敬称略)

編集後記

「全国YWCAフェスタin京都」に参加、世代交代の兆しを感懐。24地域YWCA会員の活躍にエネルギーをもらった。(S・T)

まごの手だより

まごの手は、新体制で新年度を迎えた。今年は、認知症ケアとコミュニケーションの研修に力を入れる。4月は、ほっとヘルパー(神戸市認知症高齢者訪問支援員)について学んだ。5月はカフェもぐもぐの「認知症サポーター養成講座」に合流、6月は新しい認知症ケア「ユマニチュード」について学ぶ。

(所長 寺内 真子)

【議事・協議】キックオフミーティング▶プロジェクトY(5月)【報告】全国YWCAフェスタin京都でのドリップコーヒー販売について
 ② LA(地域YWCAを主体とした活動:Local Action)第II期プレゼンテーション
 【議事・協議】各部・プロジェクトメンバーを承認▶6/16キックオフミーティング▶100周年記念事業実行委員会からの提言を受けて

(書記・岩切 幸子)

分室だより

「カフェもぐもぐ」では5月26日(土)、キャラバンメイトの沖本雅子さんを講師として「認知症サポーター養成講座」を実施した。約20人の参加者には認知症についてよい気づきと学びの時となった。講座修了者には、サポーターの印であるオレンジリングが手渡された。

(カフェもぐもぐ・宮田 泰子)

理事会報告

3月26日(月)第6回理事会、5月26日(土)第7回理事会開催。2018年度事業計画と予算、2017年度事業報告と決算の承認、第8回評議員会の招集がなされた。また100周年記念事業実行委員会からの提言を受け、委員会の組織体制について議論決議した。

(総幹事・西本 玲子)

運営委員会報告

(4月)【報告】3市Y合同合

新入会員

吉新 ばら (敬称略)

進捗

賛助員

株式会社サンビルダー
 井上 早苗 井上 力
 岩村 義雄 加納 花枝
 永田 健支 永田 俊子
 中村 昭子 飛田 雄一
 平木 貴美子 平山 嘉廣



2018年度 神戸YWCA 平和集会

生き方や価値観を見直したい 速さや強さを競う弱肉強食の「土俵」から降りる

辻 信一さん講演会

6月9日(土) 14:00～16:00
 神戸市青少年会館5階
 参加費：一般1,000円
 大学・専門学校生500円
 (高校生以下無料)



共催：神戸YWCA 平和活動部
 神戸YWCA ピース・ブリッジ
 協賛：神戸学生青年センター

住み慣れた家で、自分らしい暮らしを。

～まごころこめてお手伝いします～

❖訪問介護サービス

ホームヘルパー派遣

(介護保険、産後ヘルプ、保険外自費、他)

❖居宅介護支援サービス

ケアプラン作成、介護認定申請代行 ☎078-231-3156

お気軽にご相談ください
神戸YWCA
まごの手



(有) 佐野葬祭

代表取締役 佐野 睦 (日本基督教団 甲東教会会員)

いーく に みくに
0120-592-392 (24時間受付)

宗教を問わずあらゆるお葬儀をプロデュースさせていただきます
 尼崎市潮江4丁目2-2
 URL: <http://sanosousai.com>